

R3年 Cコース 優しい編 今年度振り返り

令和3年度、Cコース（資源生産コース）は2年生4名、3年生5名、計9名の生徒が海洋生物や海洋環境、資源増殖などを学んでいます。

実習ではマガキ、キンギョ、ヒラメなどの養殖のほか、隠岐の島町の依頼を受け、本校で行っていたワカメの種苗生産を民間事業者へ引き継いでいただくべく、技術指導・協力を行いました。

隠岐水産高校Cコースは少ない人数ながら、これからも地域の課題を解決し、地域に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。



令和3年度2年資源生産コース



カキ食害生物駆除

令和2年度よりカゴを使用して、カキを食害するイシダイなどの魚類を駆除できるかどうかの試験を行っています。

令和3年度にカゴで捕獲された魚介類は、イシダイ、カワハギ、オニオコゼ、キジハタ、ガザミ、マダコなどがあります。チヌも生息しているはずなのですが、チヌは警戒心が強く2年間で1尾しか捕獲できていません。



古くなった水槽の屋根を補修しました
修理もできるだけ自分たちで行います



昨年使用したカゴを掃除しました

ワカメ種苗生産

平成28年度より隠岐水産高校は隠岐の島町の依頼を受け、ワカメの種苗生産を行い、地元の漁業者に配布する活動を続けています。高齢化等により、島内のワカメ種苗生産業者が次々に廃業されていく中、本校のワカメ種苗は隠岐の養殖ワカメを支える上で大きな役割を果たしています。

民間事業者への引き継ぎ

平成28年4月より島後種苗センターからワカメ種苗生産業務を引き継ぎ、本校が6年に渡り隠岐島内のワカメ養殖の一翼を担ってきましたが、その業務を民間事業者へ引き継ぐこととなりました。



ワカメのメカブから遊走子を採取



塩ビパイプの枠に種糸を巻きます



糸巻き台を2台製作しました



手作り種糸巻き器を祐生水産(有)に寄贈



カゴを上げるのは重労働です



ワカメの配偶体を種糸に染みこませます



ワカメの幼芽が十分育つまで陸上水槽で4~5週間育てます



本校で作成したワカメ種苗生産マニュアルも寄贈



本校が技術指導を行い、新施設でワカメ種苗生産が行われました



この日はイシダイとマダコが入っていました